

臨時レポート

# 9月ECB理事会で金融政策を現状維持

## 景気の回復は依然として不確実であることから資金供給策を継続

- ▶ ECB (欧州中央銀行)は9月理事会で、金融政策の現状維持と資金供給策の継続を決定。公表された経済見通しでは、2020年の実質GDPを前回から上方修正。
- ▶ 今後政策対応への見方は分かれており、景気回復を占う経済指標などにより一層注目が集まる。

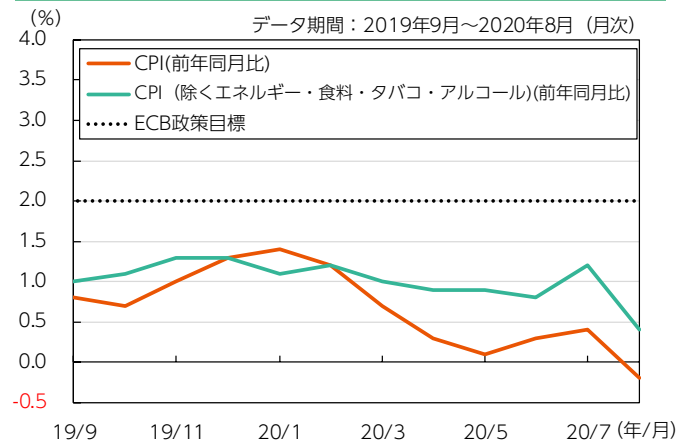
### <緩和政策に変更なし>

- ECBは9月10日の定例理事会で、主要政策金利を0.00%、預金ファシリティ金利(3つある政策金利の1つで金融機関がECBに預け入れる準備額の金利)を-0.5%の現状維持としました。また、資金供給策「パンデミック緊急買入プログラム(PEPP)」などにも変更はありませんでした。ラガルド総裁は記者会見で「経済の回復軌道は不確かなもので、(景気の回復は)新型コロナウイルス感染拡大を抑制できるかにかかっている」と発言しました。
- 公表された9月時点の経済見通しでは、2020年の実質GDP(域内総生産)成長率見通しが前年比-8.0%と前回見通し(6月)から0.7ポイント上方修正され、2021年は同+5.0%(前は同+5.2%)と引き下げられました。インフレ率の見通しは、2020年は前年比+0.3%と前回と変わらず、2021年は同+1.0%(前は同+0.8%)から引き上げられました。
- 1日に欧州連合統計局(ユーロスタット)から発表されたユーロ圏の消費者物価指数(CPI)<8月速報値：前年同月比>は-0.2%と前月から0.6ポイント低下し、2016年5月以来のマイナスとなりました。ECBが重視するエネルギー・食料・タバコ・アルコールを除くCPI<同>は+0.4%と前月から0.8ポイント低下しました。政策目標を下回っています(図表1)。

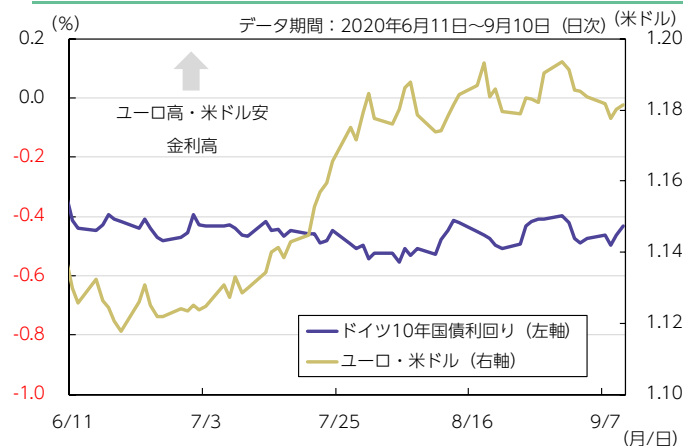
### <今後の政策対応への見方分かれる>

- 10日の欧州(ドイツ)債券市場は、ラガルド総裁によるユーロ高へのけん制発言の有無に注目が集まっていますが、「注視する」との発言に留まりました。一部投資家にあったユーロ高を受けた追加金融緩和期待が後退し、ドイツ10年国債利回りは上昇(価格は低下)しました。為替市場では

図表1：ユーロ圏CPI(消費者物価指数)



図表2：ドイツ10年国債利回りとユーロ・米ドル



出所) 図表1~2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

ユーロが対ドルで買われました(図表2)。会議前日の「個人消費の予想以上の回復から年後半の景気は回復する」との政策担当者の声を受けて、市場では追加緩和への期待が萎む一方で、先月のジャクソンホール会議での「インフレ目標の達成がより困難になることから、あらゆる政策対応が必要」とのECB幹部の発言のように、追加緩和期待を膨らませるものもあります。今後の政策対応への見方が分かれていることから、物価動向や景気回復を占う経済指標には、市場の注目がより一層集まるものと思われます。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>